

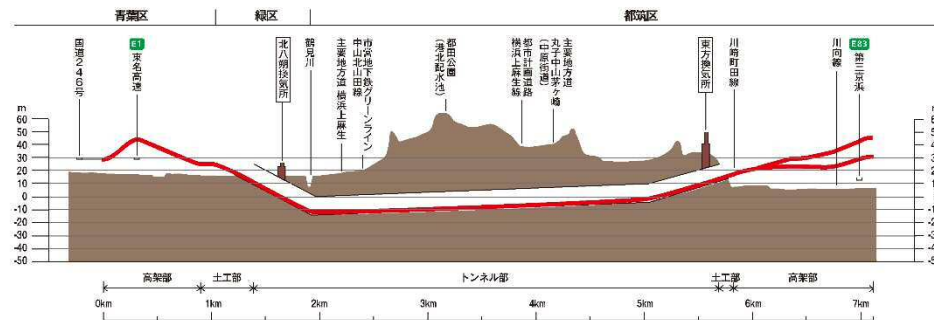
【**K7**横浜北西線（**K7**横浜北線～**E1**東名高速）の概要】

路線名 : **K7**高速神奈川7号横浜北西線
 開通区間 : 横浜青葉JCT（横浜市青葉区下谷本町）から横浜港北JCT（横浜市都筑区川向町）まで
 延長 : 約7.1km
 出入口 : 横浜青葉（よこはまあおば）出入口、横浜港北（よこはまこうほく）出入口

位置図



縦断面図



※縦断面は縦断比を変えてあり、高さは東点の平均的な海面高さを基準として表示しています。



① 横浜青葉JCT



② 北八朔地区



③ 横浜北西トンネル



④ 横浜港北JCT

【横浜北西線の整備効果】

○国際競争力の向上

🅚横浜北線と一体となって、🅔東名高速と新横浜都心(陸)、横浜港(海)、および羽田空港(空)が直結してネットワークが強化され、国際競争力の向上が期待されます。

○アクセス性の向上・物流効率化

🅔東名高速から横浜港の所要時間が短縮し、🅔東名高速から横浜港へのアクセス性が大幅に向上して物流の効率化が図られ、横浜港の発展および経済活性化が期待されます。

■国際競争力の向上



■アクセス性の向上・物流効率化



注1 速度は60km/hとしています。注2 所要時間は実測です。測定ルートは保土ヶ谷バイパス～🅚狩場線～🅔湾岸線を利用しています。

【横浜北西線の整備効果】

○災害時等の道路ネットワークの信頼性向上

災害時における道路ネットワークの信頼性が向上し、全国から市内各地への救援や物資の輸送ルートが多重化され、災害に対する備えが充実します。また、初期救急医療体制となる災害拠点病院へのアクセス性が向上し、救急搬送を支援します。

○保土ヶ谷バイパス等の交通渋滞の改善・沿線地域の生活環境の改善

保土ヶ谷バイパス等の並行道路および⁷横浜北西線沿線地域からの交通転換が図られ、交通渋滞や生活環境の改善が期待されます。

■災害時等の道路ネットワークの信頼性向上



■保土ヶ谷バイパス等の交通渋滞の改善・沿線地域の生活環境の改善



一般公開イベント及びファンランイベントのイメージ

(**K7**横浜北線での事例)

一般公開イベント



トンネルライトアップ



水噴霧デモンストレーション



トンネル避難施設体験



先進的な点検技術体験

ファンランイベント

